

特別講座・大学対策講座で 志望校合格へ一直線

ここまで、私立高校と公立高校の違いを色々な面から見てきました。ここでは、学習指導面での私立高校と公立高校の違いを紹介します。

格段に充実している 各種特別講座

埼玉の私立高校は、公立高校よりも多種多様な学習指導が充実しており、各校が競うように持ち味を出しています。

とくに放課後や早朝、長期休暇中に行われる「特別講座」（学校により名称は異なります）が特徴的です。

高校1年から見ていくと、多くの学校で早朝や放課後に講座が開講され、わからなくなる前にケアする弱点補強や、大学受験を意識して、より高いレベルの学習を行ったりしています。形は補習形式、先生からの指名制、生徒が自主的に先生にお願いするもの、定期的の開講されているものなどがあります。

高校2年では、これらの講座のレベルがアップしたり、数が増えたりとさらに充実していきます。

受験学年となる高校3年では、完全に受験モードにシフトし、生

徒の志望にきめ細かく対応できるように講座を用意している学校が多くあります。

国公立大受験、私立大受験にそれぞれ対応した講座、また、難関校を中心に各大学ごとの対策講座、センター試験対策講座など、その種類はさまざま、各高校の個性が発揮される部分でもあります。

3年間を通して、夏・冬・春の長期休暇中には「夏期講習」、「冬期講習」といった名称で、まるで予備校のように集中講座が開かれ、さらに学内、または学外の施設を使った「勉強合宿」が行われます。

そのほかにも、有名予備校のサテライト授業を学校で受けることができたり、大学生チューターによるサポートを受けられたりと、非常に手厚い学習支援体制が整っているのも私立高校の強みです。

しかも、こうした各種講座や制度のほとんどが、無料、または有料でも非常に安く利用することができます。予備校に通うよりも費用がかからず、それでいて充実の講座が用意されているとあって、どの学校でも利用する生徒は年々増えています。

英語検定・数学検定といった各種検定の対策講座を開講している学校もあり、生徒のスキル

アップに大いに役立っています。

他大学受験も 可能な 大学附属校

埼玉の私立高校には併設の大学を持つ高校があります。

そうした高校に入学すると、3年間で基準を満たせば併設大学へと進学できる推薦をもらえるのが普通ですが、より高いレベルや、併設大学にはない学部へ進みたい、というような場合に他大学を受験できる学校もあります。

そうした学校では、一定の成績を収めていれば、他大学受験に失敗しても併設大学へ進学することができる制度があったり、他大学受験用の選択授業や対策講座があったりと、生徒の希望に柔軟に対応できる制度を整えています。

それぞれの高校が生徒の進路希望をかなえようと、さまざまな試みを行っているのが私立高校の大きな強みです。公立高校では予備校に通いながら大学受験に備えるのが一般的ですが、私立高校では予備校に頼らない独自の大学受験対策によって、大学合格実績を伸ばしているのです。